



相愛大学での 学びの大切さを伝えたい

発達栄養学科 2017年(8期生)
河畑 かなえ

活躍する卒業生たち

私は今大阪府茨木市立天王小学校に勤務しています。教員4年目で、3年生37名の担任をしています。
2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で対面での授業は6月からスタートしました。私のクラスは2年生からの持ち上がりだったの子どもたちはよく分かっています。ですが、たくさん不安がありました。しかし、子どもたちは安心して表情で登校してくれました。子どもたちの成長を感じることができ、うれしさと共に保護者の方への感謝を感じる日々ですが、子どもとの関わりの中で悩むこともたくさんあります。そんな時はいつも、初任者担当の先生に言われた「子どもは遊びの中で成長する。たくさん遊んであげなさい。今はそれだけでよかったらいい」という言葉を思い出しています。日々の業務に追われ、慣れない環境で不安が大きくなっていった私にとって、救いの言葉でした。それから、今できることをしようと思いつき、休み時間には子どもと関わりたい。たくさん遊ぶように心がけました。すると授業が思うように進まない時には、先生を助けてあげようと頑張ってくれているようになりました。このことから子どもと向き合い、関わることを積み重ねていくことで信頼関係が築けてきていると実感しました。失敗して

昨年度より、相愛大学の実習実験助手として勤務しております。主に、解剖生理学実験、基礎栄養学実験、調理科学実験の授業を担当しています。
自分の卒業した学校で働くことになり、うれしさと、授業のたびに懐かしさを日々感じています。
私は相愛大学を卒業後、地元に戻り児童養護施設の管理栄養士として働いていました。そこでは、栄養バランスのとれた献立を作成するだけでなく、食事を誰が作り、誰と食べるのかなど、食を通しての関係性の中にもたくさん愛着を育む要素があり、「食卓」をつくるという事が大切だと学びました。しかし、子どもた



子どもたちとの信頼関係を実感

子ども発達学科 2017年(8期生) 格清 梨沙

もくじけずに色々なことに挑戦していくことで、子どもの変化が見えることに気がつき、やりがいを感じています。
勤務している小学校は若い先生が多く、2年目からは先輩と一緒に学年を担当するようになりました。色々な相談に乗ることがありますが、経験のなさを感じ、今でもまだ悩むことはあります。ですが、保護者や先生、そして子どもに助けられていると感じています。一人で悩まず、頼って頼られて、元気で笑顔の先生として子どもの前に立てるよう、これからも頑張ろうと思っています。

ちのためにしたい事、管理栄養士としてしなければいけない事、自分のスキルでできる事とのギャップに悩み、いざ現場に立った時の知識と実力不足を痛感しました。それでもなんとか食の責任者として働けたのは、相愛大学での学びが大きな基盤となり、一生懸命勉強して取得した管理栄養士の資格への誇りがあるからだと思います。
相愛大学の助手として働き始め、一つひとつの授業や先生の言葉がどんなに大切な身に染みてわかります。今一番に思うことは、先生たちはこんなにも学生に一心に向き合ってくれていたのか・・・という事です。学生の国家試験合格を目指し、本当に最後

までサポートしてくださいませ。次は自分が学生をサポートする立場として、少しでも経験し学んできたことを伝えられたらと思っています。
新型コロナウイルス感染症拡大により、新しい学習スタイルの中で、学生たちも一生懸命大学生活を送っていますが、大学で会えば笑顔でたわいもない話をして、先生と慕ってくれることに一層喜びを感じ、活力をもらっています。
まだまだ力不足で、先生方、助手の先輩方から助けていただいていたのですが、学生たちの相愛大学での学びに少しでも貢献できるよう、ご指導いただきながら精進していきたいと思っています。

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。2019年末よりのコロナ禍のために2020年度第

関東支部

同窓会集える日を願って

59回同窓会開催は中止とさせていただきます。3月以後の幹事会は、会合ではなく、密を避け、全てLINEで意見交換いたしました。には以前にも増して良かったと感じています。

支部長 天貝 千代美

東海支部

お目にかかれることを願って

昨年度は、世界中がコロナ禍の中、予定していた総会や旅行も中止となり、大変残念な一年でした。相愛学園同窓会東海支部として長く活動していますが、このような事態で皆様にお目にかかれることが出来なくなると、だれが予測できたでしょうか。
活動のご報告はできませんが、この場をお借りして改めてお知らせいたします。

元気なお顔でお目にかかれることを願いつつ、皆様のご健康をお祈りいたしております。
支部長 星野 滋子

京都支部

コロナ最中の毎日について

奈良の町の中心街は人が動いていますが、横町に入ったり我家の周辺は昼間人が居ません。朝は通学、通勤の人がマスクをして早足で通っていかれますが人数は知れています。心なしか車の通日も少ないように感じる今日この頃でございます。いずれも同じような日常をお過ごしのことと拝察申し上げますが、いかがでしょうか。
行事としての京都支部秋の紅葉会も中止と致しました。お手紙を差し上げてお出掛けをお願いいたします。春から外に出ていないので、出かけるのは恐いとおっしゃいますので、コロナの収束の心配

は、風邪も引かず元気で過ごせること、コロナにかかると明日が分からないので念のため「終活ノート」を付ける事にしました。笑い話ですが実際に心配しながら毎日を送っております。どうぞ皆様様に於かれましても共感される方も多いと思いつつ、感染したり、気を使います。買物に行ってもマスクの着用を忘れて人の目が気になって「そうだ!!マスク」と慌てて着装したりの毎日を送っているのが現状でございます。マスクの着用と手洗い、バッグの中には消毒剤も携帯して、いつでも使えるように用意をしたり例年と違う生活ですが利点と致しまして

支部長 竹原 和